

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成30年度第2回西脇市地域福祉計画推進会議
開催日時	平成31年2月25日(月) 午後1時30分～3時
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	谷口泰司、大久保恵司、村上昌紘、武部恵子、伊達恵一、小谷義之、岡野雅代、久下弘、村上典正、藤井志帆、足立ちづる、中嶋弘美、絹川恵子、村上明生、笹倉信男、齋藤周藏、片山功、宮崎延子
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	真鍋宣征、西田俊哉
出席職員の職・氏名又は人数	福祉部 部長 細川喜美博 社会福祉課 課長 伊藤景香 長寿福祉課 課長 村井真紀 こども福祉課 課長 岸本雅彦 社会福祉課 課長補佐 正木万貴子
傍聴人の数	0人
協議又は協議事項	(1) アンケート調査結果について (2) 第三次地域福祉計画の体系・骨子について
会議の記録	
発言者	内 容
事務局	1 開会 委員の出席は18名 傍聴者は0名 (資料確認)
会 長	2 あいさつ 議事録署名委員の指名 齋藤会長と村上昌紘委員に決定
事務局	3 協議事項 (1)アンケート調査結果について、事務局から説明願う。 (事務局より資料説明)
会 長	市民アンケート及び団体アンケート調査それぞれの説明があつたが、質問があれば発言を願う。

	<p>では、説明についての質問はないので、この調査結果についての問題点や意見があれば聞かせてほしいと思う。非常に多岐に亘っているので、どのようにしていくかは市に投げかけるのか、地域に投げかけるのか、どこに問題があるのか、問題点が上げられていると、解決策については色々意見がでてくると思う。それも積極的な意見があれば出してほしいと思う。</p>
委 員	<p>高齢化しているということと後継者不足が多い。</p>
会 長	<p>今の高齢化について、市で何らかの対策があれば回答を願う。少子高齢化は非常に大きな問題で、市だけでは解決できないが、市の施策が、もう少し違う意味で考えられればこの会議の意義がある。</p>
事務局	<p>答えになるか分からないが、アンケートの時期が9月で災害時の要援護者支援に関する必要性などが大きくアンケート結果に出ていると思う。市職員も人員が減少する中で、自主防災会の強化を図っていき、災害時の個別支援計画を立てて安全に避難できるよう今後取り組みを考え、調整を図っているところである。</p> <p>また、高齢者施策の担い手不足になっている観点からは、介護サービス事業についても減退がある状況になっており、地区のまちづくりと協力しながら生活支援や通いの場の創設を図っていくよう、市も地域と一緒に取り組みを調整しているところである。</p>
委 員	<p>市民アンケート調査結果報告書の38ページの「災害時避難行動要支援者登録名簿」私も初めて聞いたが、どのようなものか。約60%は「知らない」と回答している。どの町でもできれば安心できるので、きちっと把握すれば効果が上がるのではないか。</p>
事務局	<p>災害時において自ら避難することが困難な方を災害時避難行動要支援者としている。西脇市では、民生委員から市に提出された福祉票を元に、本人の同意を得て災害時避難行動要支援者名簿としている。避難訓練や自主防災活動で自治会から市に対して申請があれば、名簿を提供している。以前からあったが、自治会や自主防災会への周知が進んでいなかったので強化しようと区長会や民生委員へ説明し、名簿の活用について周知を図っている。名簿は、名前と住所、高齢者か障害者かという書き方になっており、地域での支援が必要</p>

	<p>な方の一覧になっている。</p>
委員	<p>この間、区長と打合せをしたが、区長は知らなかった。民生委員は、独居老人を含めて心配な人を毎年2回調査するのでAランクの人を把握している。この名簿を民生委員と区長と消防団が共有して警報が出たらすぐに動ける体制が必要だと思う。</p>
会長	<p>連合区長会で連絡を密にしてほしいと何回も知らせているが、各町に温度差がある。</p>
事務局	<p>この名簿の活用については、ご指摘のとおりである。5月の区長会でも説明し、その後自主防災会の強化について、地区区長会にも防災安全課と同行して説明をしていく予定である。名簿の活用と地域の支援体制の強化を依頼していきたいと思っている。</p> <p>名簿は、災害時を想定した訓練等に関して自主防災組織へ提供でき、災害が発生した場合には、区長や自主防災会等にも提供できる目的となっている。</p>
委員	<p>全然活動していない地区もあって、活動している地区とは大きな温度差がある。</p>
事務局	<p>今、名簿の提供は、22自治会から申請があった。温度差があるというのはそのあたりだと思う。</p>
委員	<p>自分の自治会は世帯の数も少なく、以前から災害時にこの高齢者は誰が支援するかや避難先など一覧表がある。幸いに今のところ大きな災害は無いが、区長が交代されても申し送りがあり、みんな知っている。自治会の大きな所はなかなか難しいのか。</p>
会長	<p>市防災安全課から各自治会で防災計画を作成し、それを踏まえた訓練を年1回するよう要望されている。各自治会で住民の安心安全の推進を依頼しているので、名簿のことも再度要望しておく。</p> <p>他に何かあるか。</p>
委員	<p>この名簿の基準には、就学前の子どもがいることや多子世帯や妊産婦、乳児も要支援者として掲載されているのか。</p>

事務局	市で福祉票を元に作成している名簿は、高齢者や障害者を主にしているのので、子どもや妊産婦等は、自治会等に提供できる名簿としては整備していない。実際に災害が起きた場合には、妊娠届や子どもの台帳などから支援が必要な人の名簿を提供することになると思う。
委員	災害が起こってから作るということか。基準がおかしいのではないか。発達障害の子どもや妊産婦の名簿を把握していないといけないのではないか。検討してほしい。
事務局	検討する。
会長	他にないか。
委員	基本的な質問だが、アンケート回答者は、女性や高齢者が多い。このアンケートのデータというのは、その集団の意見を判定し、西脇市全体の意見として考えてよいという根拠は。
事務局	市民を無作為抽出しており、総意として全ての意見が反映されているかとなると難しいと思うが、意見を参考に計画の基礎調査だと考えている。
委員	当然無作為抽出だと思うが、年齢別に高齢者が多く若者が少ない、さらに女性の方が回答率が高い、しかも高齢者の方が回答率が高い。そこに抽出した偏りがあると思うが、一般的なアンケート調査としてその母集団のデータとして使ってよいのかという基本的な質問である。
会長	コンサルの方は、どうなのか。
コンサル	基本的には、性別や年代別が全体の人口比に対してどれだけのふれがあるかという確認が必要になると思う。その中で性別・年代別が統計的に誤差の範囲内であれば、アンケートとして有意なものになると思うので、その検証は若干必要だと思うので、事務局で検討したい。

委 員	市民アンケート調査結果報告書の40ページの「医療サービス体制の充実」が施策として一番進めなくてはならないという意見だが、医療サービスが充実していないとは思わないが、どうなのか。
事務局	先ほどのアンケートの有効性に絡んでくると思う。高齢化が進む中で医療に関わる方々が増えてきており、施設から在宅医療へという中で、医療についてはかなり関心をお持ちであり、こちらが上げた抽出項目の中で「医療サービスの充実を求める」というところに意見が集中したという結果だと思っている。全ての方が医療サービスの充実を第一に求めているかは、少し検証と議論がいるところだと思うが、高齢者が多い中でそういったところに関心があるのは現実的などころで、西脇市の医療が充実していないのかは、数字を上げて申し上げることはできないが、決してそうではないと感じている。
委 員	一番多いからといってそこに無駄な投資や時間をかけるよりも、もう少し中身を精査しないとアンケートそのものが本当の意見なのかどうかということが問題になってくると思う。
委 員	アンケートに関して同じ40ページで「子どもの頃からの福祉教育の充実」があるが、団体アンケート調査でも結構高い。実際に市では、4年生で福祉教育を学んでいるが、これが充実していないからこの項目があるのか、どう捉えたらよいのかと思う。今以上にもっとということなのか。
事務局	学校教育の中で福祉教育が取り入れられているのは承知されており、今の教育に不満ではなく、子どもの時代からの積み重ねが大事であることを再認識していると捉えている。
コンサル	統計的な補足だが、先ほどの医療サービスの関係も含めて、市民アンケート調査の35ページに「地域の暮らしやすさ」について設問がある。満足している方がどのような回答をしているのか、不満な方はどういった回答をしているのか、クロス集計から掘り下げたいと思う。
会 長	(2)第三次地域福祉計画の体系・骨子について、事務局から説明願う。

事務局	(事務局より資料説明)
会 長	説明があったが、質問があれば発言を願う。
委 員	ガイドラインからの追加事項について、再犯者防止対策推進とあるが、これはどのようなことを指しているのか。
事務局	犯罪をされた方に対して、社会復帰等に関して、市や地域として支援できることに関する事項だと思っている。
委 員	様々な照会が受けられるとしたら、保護司から生活に困窮している方の依頼をすることも可能だということか。
事務局	日頃から支援されている中で、事例があれば福祉部に相談窓口があり、つないでいただくとよい。
会 長	基本方向1、2、3とあり、課題や施策に追加してほしいなどがあれば。
委 員	方向性で、県の地域福祉計画との整合はどうか。また、国の策定ガイドラインにもある子ども・子育ての各福祉分野の重点としてのキーワード「虐待」とかが、第二次計画でも触れられていない。担当のこども福祉課に頑張ってもらいたいことを要望だけしておく。
委 員	最近でも親が子どもを殺すニュースが気になっている。基本方向3の3安心して住めるここ辺りに虐待に関することが入ってこないのかと思う。
事務局	検討する。
委 員	基本理念(案)などが読みづらいところがある。上から2つ目のキーワード「相談の体制の充実」は「相談体制」の方が良い。基本方向2「相談でき解決できる」は「相談でき、解決できる」の方が良い。基本理念(案)2「みんなが安心できる地域共生社会の実現」は「みんなが安心して暮らせる地域共生社会」の方が分かりやすく、読んで具体的なイメージが湧きやすいような文章が良いと思う。

会 長	基本理念は、案1と案2があり、協議してほしいとのことである。
事務局	案1は、前の第二次計画をそのまま引き続く形である。案2は、現在の案である。また、アンケートなどから見えるキーワードとして「地域共生社会」「安心」「つながり」「心」「かよう」をホワイトボードに書き出した。皆がパッと読んでスッと入ってきやすい、今の西脇にはこういうのが必要なのではないかというようなところも含んだような基本理念ができたらと思っている。この辺りのキーワードを参考にして、理念の検討をお願いしたい。
会 長	助詞についての提案の方は、事務局の方で検討してほしい。基本理念案1と案2について、意見はあるか。
委 員	案2に替える必要はないと思っていた。
会 長	事務局は、第三次計画で替えると思っているが、そのままが良いという意見が大半であればそのままでも良いし、ここで決まらなければ次回の時までを考えて、まだ時間があるのでどちらか投票で決めてもいいと思う。
委 員	自分が何をして生きていくのか、西脇市民がどうしていくんだというのが分かりやすいのがいいと思う。そういう意味では、案1は、読んで私はどうするのかがイメージがしにくいと思う。
会 長	次回にしてよいか。
事務局	次回の開催案内を送付する際に用紙を同封し、事前に記入して、事務局へ提出していただくことでお願いしたい。
会 長	それでは、これについてはよいか。
副会長	今回大枠を示された計画の体系・骨子について、特に問題はないが、今後の項目の内容への要望と少し追加をしてほしい点がある。 1点目の内容の検討は、基本方向2の3サービス利用の仕組みづくりの①国のガイドラインの追加で共生型サービスの推進とある。この共生型サービスの推進については、その中身を表現する際には

	<p>慎重に検討してほしい。理由は、正直に言ってこれは国の要望の間違いである。共生型とつくと、障害のある人と介護の必要な高齢者と専門家が使うことになり、隔離を推進することになる。強いて使うなら共用型である。共生型と使う以上は、障害があってもなくても使える。介護が必要であろうがなかろうが使える。というのが本当の共生型サービスで、必要な人だけ年齢関係なく使えるというのは、共生型とは違うところをうたいながら、西脇版の共生型の場合は、国が言っている狭い範囲の内容ではないことを示すのか。そうでなければ、単に国のガイドラインで追加するのは削除するところを検討してほしい。</p> <p>2点目は追加修正だが、同じところでサービス利用者の権利擁護・生活支援とあり、取り組むべき内容が、成年後見制度の利用促進・市民後見人の育成とある。認知症高齢者も知的・精神障害者も、自分の意思が基本的に表現できないことはほとんどなく、徹底的に意思決定支援をする前提で、ぜひ追加してほしい。あらゆる方策を行い、万策尽きて初めて成年後見であり、これをどんどんすすめていくと、いわゆる人の代理人、極端に言うと支配者を増やすだけになってしまう。これはあくまで最後の手段で、その前提があるというところを西脇は大事にすることを追加するよう要望したい。</p> <p>他に意見がなければ、以上で本日予定していた協議事項は終了とし、皆さんのご協力にお礼を申し上げて、次回にまた進めたいと思う。事務局にお返りする。</p> <p>4 その他</p> <p>今回の会議は、5月の開催を予定しており、第二次西脇市福祉計画の進捗状況の報告と第三次西脇市地域福祉計画の素案について、基本理念と基本方向を併せて協議をいただきたいと考えている。</p> <p>今後の会議予定は、31年度は4回になり、5月以降に3回予定し、それに引き続きパブリックコメントを12月に実施することで進めたいと考えている。日程が決まり次第改めて案内をするので、予定をよろしく願います。</p> <p>それでは以上で、本日の会議を終了する。</p>
会 長	
事務局	
会 長	